

# THE Y S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2019~2020年度 No.238

## 11 月報

那須クラブ会長 主題

### 地域につなげ那須ワイズ



強調月間：ワイズ理解  
ファミリーファースト  
ワイズデー (11/10)

### 今月の聖句

わたしは知っている。わたしを贖う方は生きておられ、ついには塵の上に立たれるであろう。

ヨブ記 19 : 25

### ・ 11月第1例会

日時：11月23日(土・祝) 午後2時~  
場所：遠山宗定師匠宅 那須塩原市二区町369  
内容：日本の文化を知ろう・お茶の会

司会：平山雄大YMCAスタッフ

開会点鐘	会長 河野 順子
会長挨拶	会長 河野 順子
ワイズソング斉唱	一同
ワイズ信条の朗読	一同
聖書朗読・祈禱	原田 明子メネット
ゲスト紹介	
茶道についての講話	遠山宗定師匠
茶道体験	茶室にて
ワイズ・YMCA報告	
YMCAの歌	一同
閉会挨拶・点鐘	会長 河野 順子

会費：1,000円

2019~2020年度 主題

国際会長：(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)  
「より良い明日のために今日を築く」  
アジア太平洋地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)  
「Action!」  
東日本区理事：(RD) 山田 敏明(十勝)  
「勇気ある変革、愛ある行動!」  
北東部長：鈴木 伊知郎(宇都宮東)  
「われら北東部、世界のワイズメンと共に前に進もう」

### クラブ役員

会長：河野 順子  
副会長：村田 榮・田村 修也  
書記：藤生 強  
会計：村田 榮・鈴木 保江  
担当主事：藤生 強  
ブリテン：田村 修也・村田 榮

### 10月例会データ(出席率：66.3%)

在籍者 6名  
例会出席者 4名 メネット 3名 YMCAスタッフ 1名  
ゲスト(ユースリーダー) 4名

### 11月 Happy Birthday

11/7 原田 明子メネット  
11/14 河野 順子ウイメン

### ・ 12月第2例会(役員会)

日時：12月2日(月) 午後12時30分から  
場所：ココス西那須野乃木店

### ・ 12月第1例会(クリスマス例会)

日時：12月14日(土)  
場所：日本キリスト教団 西那須野教会

# 11月巻頭言

副会長 田村 修也

## 2019年令和元年最初の植樹例会

令和元年になって初めての植樹例会は、11月2日土曜日素晴らしい秋晴れの中で行われました。今回は塩那森林管理署とNPO法人おおたか保護基金主催の2019アカマツ森づくりに参加となりました。ワイズ例会としての植樹例会にはプレス関係者が来ることはありませんでしたが、今回は朝日新聞社の記者が取材に来ていて、数日後の11月6日に写真入りで「松林の再生願いアカマツを植樹 那須で小学生ら」の見出しで掲載されましたので紹介いたします。『那須町の日光国立公園内にある「那須街道赤松林」で、アカマツの植樹作業があった。地元の小学生らが苗を植えていく、里山林の保存に一役買った。塩那森林管理署と、赤松林に住むオオタカを保護しているNPO法人が主催した。松くい虫の被害で年々数が減るアカマツを再生させるねらいで企画された。黒磯地域のガーススカウトの小学生と自然愛好家ら約50名が参加した。植樹前に、参加者は松林には天皇ご夫妻の長女愛子さまのご誕生記念の森であり、オオタカの生息地であると説明を受けた。参加者は熊手で枯れ葉などを除いた上で、クワで穴を掘って25センチ前後のアカマツの苗200本を丁寧に植えた。「アカマツでいっぱいになったら、もっとすてきな林になると思う」と話していた。』以上が全文です。終了後には、森林管理署で準備してくれたさまざまな森の恵みを使って、一足早いクリスマスクランツやクラフトを作っておみやげにしました。私たちの生活が森や林等自然から遠のいていく中で、四季折々に自然と触れ合う機会を持つことは、私たちを心身ともに豊かにしてくれる大切なことと思います。春秋の植樹活動はこれからも続けていきたいと願っています。

ワイズ参加者：河野会長、田村副会長、村田副会長、田村メネット。

ゲスト：黒磯ガールスカウト他18名



## 10月例会（アジア学院収穫感謝祭）

書記 藤生 強

日時：2019年10月13日（日）午前9時～

場所：アジア学院

参加者：河野、田村、村田、藤生、の各メン。原田、田村、村田の各メネット。ゲスト・ユースリーダー4名（寺島菜月（ぷりん）五十嵐啓祐（ベコ）田口小雪（める）西勇祐（ケンイチ））、YMCAスタッフ1名（平山主事）。合計12名

10月例会は、恒例の「アジア学院収穫感謝の日」へのブース参加でした。

「アジア学院」は那須ワイズ活動エリアの中央部に位置し、那須ワイズそしてとちぎYMCAも昔から色々と関わらせて頂いています。

収穫感謝祭は10月12日（土）・13日（日）の2日間の開催予定でしたが、台風19号の東日本直撃による安全を考慮し12日は中止となり、13日だけの開催に変更となりました。

台風19号による被害は甚大なもので、幾つもの河川で氾濫を起こし、多くの水害が引き起こされました。13日は快晴ではありませんでしたが、東北自動車道は通行止め、東北新幹線や宇都宮線も運休し、東京方面からの交通手段は寸断され、ほとんど来ることが出来ない状況でした。そのため地域の方々を中心とした来場で、例年と比べると来場者数は少ない様子でしたが、それでも賑やかに行われました。

那須ワイズは例年の様に、古着や小物などの「ミニバザー」、秋の草花や木の実などの詰め合わせ「季節の贈り物」販売、そして子ども達への「スーパーボールくじ、輪投げコーナー」などを行いました。開店前の準備中に古着を手に取り買っていく外国の方（アジア学院は国際色豊かです）が多くいました。日本の方には「季節の贈り物」が好評でした。子ども達には「スーパーボールくじ」や「輪投げ」が好評で、大きなスーパーボールを当てるために何回もくじをする子もいました。駄菓子はほとんど売れませんでした。



アジア学院の位置する付近も多少の台風被害はありましたが、それでも多くの方が来場している様子に「アジア学院を支えたい」という「地元愛」を見ることが出来ました。

今回の台風19号を始め大きな災害が続いております。亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、ご遺族や被災された方々にお見舞いを申し上げます。そして被災された方々の生活が少しでも早く戻ることをお祈りいたします。

## 11月第2例会（役員会）報告

日時：11月11日（月）午後12時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、田村メネット、平山YMCAスタッフ。

協議事項

1. 11月例会（日本の文化を知ろう・お茶の会）  
11月23日（土・祝日）午後2時から遠山宗定師匠宅 那須塩原市二区町369で行う。ユースリーダーの参加を期待する。会費は、1,000円。講師謝礼は5000円、その他茶菓子代等は実費を支払う。
2. 12月例会の件  
12月14日（土）午後6時より、日本キリスト教団西那須野教会にて実施する。養徳園の皆さんの招待、ユースリーダー、教会関係者、その他の方々に案内する。メンバーは、一品持ち寄りで会費1,000円。第1部キャンドルサービス、第2部祝会とする。西那須野教会に会場費として2,000円支払う。講師・奏楽・食事の準備の奉仕者に3,000円のお礼をする。養徳園への案内、案内書の作成は、田村副会長。参加者の締め切りは12月5日（木）とする。17時集合し、会場準備等を行う。プログラムの印刷は、YMCAに依頼。
3. 12月役員会の件  
12月2日（月）午後12時30分よりココス西那須野乃木店で行う。
4. 1月例会の件  
1月24日（金）午後6時より、西那須野の岡重にて、新年例会行う。ユースリーダーの参加については、12月役員会にて話し合う。
5. その他  
・11月16日（土）西那須野教会にて行われるオープンチャーチのワイズのPRポスターの作製。村田、田村担当。  
・ワイズ・YMCAよりの依頼のあった、「台風19

号・15号被災地支援のお願い」に対して、ワイズとしては、ワイズ東日本区に20,000円、とちぎYMCAには、個人献金とする。

### 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第80回）

田村修也

#### 疎水之儀ニ付添上申書

兼テ県知事閣下ニモ知召ス通り、当村地内ハ横巾一千七八百間、狭キ所、猶一千二百間有之、中央ニ水路無之テハ、将来村勢之位置甚ダ偏、且農業上向來又不便不少事故、是非中央ニ貫通相成候様、再三再四土木局出張官へ申立候得共。局長公御指定ノ位置ノ外、聊モ変替不相成趣ニテ、通水式ノ当夜、大田原御宿館ニ参上仕、当時御開墾ノ水路ニテハ、三島村境ヨリ僅カ二百五十間、甚ダ東ニ偏シ、夫等ノ所ヨリ、中央ニ通水致シ候時ハ、原野横断中、多少ノ凸凹有之、工事不容易、又水モ其所限りにて引落ち、源流ニ不戻、不便無極、折角御国費御多端中、特別之御仁恵開通被成下候疎水之儀、聊カノ費額ノ為、将来不便ヲ感シ候次第遺憾無極儀ニ付、何卒御憐察仰ギ度申立候戸頃出張員ニ問合せ、何レノ向ニモ御沙汰被成下旨ニ、安心罷在候処、其後何ノ御沙汰モ無之、猶出張官ニ相迫り相伺候得共、一端土木局ニテ御取極相成候位置、何様ノ儀有之共、変換不相成旨ノ御沙汰ノ由承り、大ニ落胆相候。私共篤ト塾考仕候ニ、大体当原開墾ノ為メ、巨額ノ金円御下渡相成、其枝葉トハ乍申、實際ニ使用致シ候水流ノ不便ヲ、更ニ御聞取無ノ儀ハ、何等ノ故力更々合点仕兼候。右ノ次第二テ、工事御落成相成候間、本社ハ、無抛旧飲用水路へ分水致、仮ニ通水致置候事故、其以来移住ノ者共ハ、皆此飲用水端ニ居住致シ、果シテ村落ノ位置東ニ偏シ、如图面、耕地ト可相成場へ遠ク、実ニ将来得失自今判別仕候次第、何共無抛処事ニ候。当村移住者中、第四区、三区、二区、一区共、飲用水路西方村落林境迄、百二十五戸程有之、此者共ハ、更ニ此水ヲ使用相成兼、是非中央ニ一線開通ノ儀頻ニ申出候得共、御払下地金納、其外是迄ノ費用モ多額ニテ、更ニ一金ノ純益モ無之、株主へ、又々水路出金ノ事ヲ促シ候様ニモ相成兼、去迎一区毎ニ小水路ヲ受設候時ハ、其区限り捨水ニ相成、更ニ源流ニ不戻、是ヲ四区ニ通シ候時ハ、第一農場辺ニテハ、一滴モ通水無之様ニ相成り申候間、原水ニ戻ル丈ノ水路取設不申内ハ、配水相成兼、彼是ニテ区毎ノ配水ハ見合置申候故、移住人共ハ頻ニ苦情申出困却史仕候。明治九年以降、水路ノ議ニ付テハ、東西ヲ奔走仕、弥本願ヲ貫キ候場合ニ至リ、別テ自

己ノ農場へ、不便ノ水路ヲ御受設被下候仕儀ニ立至リ、不幸無此上、内情嘆息罷在候次第御座候。以上開陳仕候事情、何卒広大ノ御慈悲ヲ以テ、一線ノ水路費用、御下与置候ハバ、老年ノ私、生前ノ樂此上難有仕合ニ奉存候。印南丈作 矢板武

当時土木局の合点のゆかない処置に対しまして。印南さん矢板さんの悲憤の情は、綿々としてこの上申書の紙面に溢れています。この上申書にもありますように、那須開墾社は、拝借地の中央に、南北に縦貫する大道路(通称縦道、現在のライスラインで、那須塩原インター入り口に通じる道路)を予定して、それに沿って移住民を入植させるために地割りをされていて、移住民もポツポツ入植していましたから、政府の補助の有る無しにかかわらず、縦貫道路に沿って一条の水路を開墾することに決定して、9月27日に、本庄勝治を雇って測量に着手しました。この工事の担当者には、那須開墾社の社員である安藤治輔と秋元守三の両名が任命されました。そして、10月8日に水路開墾工事が着手となりました。この工事の労務は、周辺の村落からの、那須開墾社無株金株(株金を現金で払い込む代わりに、労力を提供する者)の株主から、提供する人歩でもって充てることにしました。このために、秋元守三は10日には下石上村に、12日には接骨木、上下横林、折戸、墓沼、遅野沢、関谷の6ヶ村へ、更に12日に

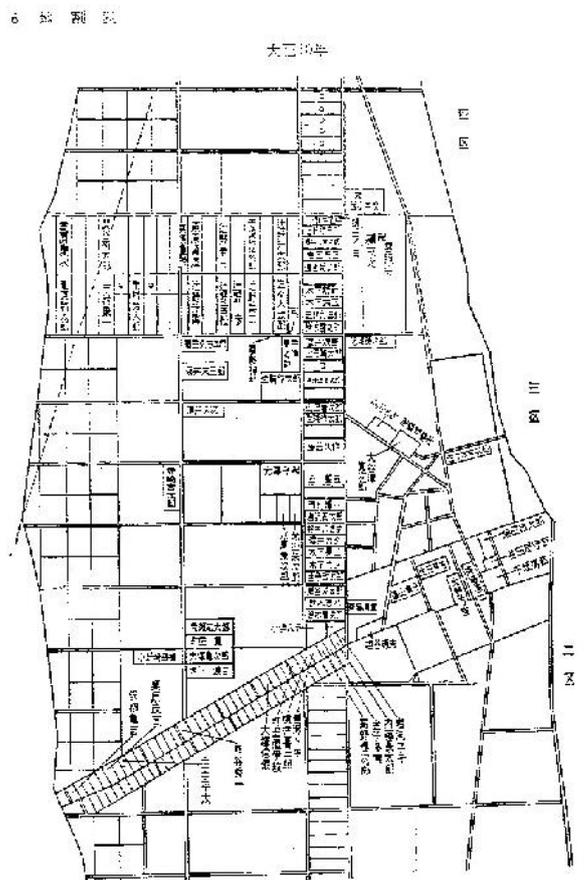


図2-24 那須開墾社土地配分図(明治19年4月作成)をもとに『大正10年度戸籍』(二区所有区画)から作成

は、関谷村から田野村方面に出張して、人歩提供を株主に要請して回りました。その後も、秋元守三は、繰り返し各村々を訪問すると共に、その外に親園村、実取村、薄葉村等に出張して、人歩集めに努めました。添付の那須開墾社土地配分図は、明治19年4月作成をもとに、明治29年地所共有連名簿から作成されたもの。(以下次号へ)

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園  
園長・理事長 福本 光男

この度の台風19号で亡くなられた方への哀悼の意を表します。遺族の方に神様からの慰めと平安がありますように。被災者の方の心と体の健康を祈り、普段の生活に早く戻ることが出来ますように。そして、復旧にあたっていらっしゃる方の安全を願います。

台風による保護者の皆様の被害は、大丈夫でしたか。園の被害は、しだれ桜が折れました。子どもたちも、「お家大丈夫だった。屋根飛ばなかった。窓がガタガタした」、「ガムテープを剥がすのが大変だった」と報告してくれました。

栃木県幼稚園連合には、必要があれば備蓄している非常食・水の提供を申し出ました。また、同連合会による募金実施についても確認中ですが、本園単独でも実施したいと考えています。募金にご理解・ご協力をお願いいたします。同連合会によると、県内の数園が被害を受け、数は把握できていませんが保護者、教員も被災されたとの事です。県外については把握していないとのことでした。

台風の前日には、卒園生の生駒組社長、生駒憲一様より、「何かありましたら急いで駆けつけますので、いつでも連絡して下さい」との心強いことばをいただきました。翌日には、その会社で建てた建物ではないにも関わらず、2名社員が被害確認に来て下さいました。

また、16日には更生保護女性の会の皆様が、チューリップの球根を年中組の子どもたちと植えにきて下さいました。終えた後、第3グラウンドのログハウスと庭を見学してもらい、午後2時から4時位まで、子どもたちと保護者、地域の高齢者の方々に開放し、世代間交流の場所にしたいという思いを伝え、更生保護女性の会の皆様に交代で管理をお願いできないかと打診したところ、検討して下さいになりました。この2つのエピソードを通し。本園は、本当に地域の方々に支えられていると実感した次第です。

さて、年中組・年長組運動会が保護者のご理解・ご協力をいただき、怪我もなく無事に開催できましたことを感謝申し上げます。PTA会長四ッ谷様、副会長金田様にはご挨拶等、お世話になり、ありがとうございました。運動会は、子どもたちのそれぞれの成長が垣間見られる内容でした。結果だけでなく準備してきたことをも含めて褒めて下さい。

例えば、鼓笛のバルーンの演技。今までの演技と変わっていたことを担当教師に聴いてみました。子どもたちが決められたものをやるのではなく、教師が例を示し、どんな演技が良いかを子どもたちと相談してやってみて、変更を加えながら当日を迎えたそうです。鼓隊の方も子どもたちの実態に合わせてながら変更をしていったとのことでした。教師の設定はありますが、このみんなでどうしたらよいかを考え、みんなの意見を集約していく過程が子どもたちの学びです。それを考えていくと、鼓笛という種目が学びに相応しいのかという検証をして行くことも必要で、鼓笛の実施の検証をここ数年しています。繰り返しになりますが、当日の結果も大切ですが、このような途中の過程、やらされているのではなくて、みんなで主体的に取り組んでいく経過の方学びが、これからの正解の無い時代をよく生きる子どもたちに求められる非認知能力の基礎となります。

## 聖園那須老人ホームだより

社会福祉法人 イースターヴィレッジ  
聖園那須老人ホーム 施設長 赤坂 英昭

### 「 那須の雪だより 」

10月12日に日本に上陸した大型の台風19号は、関東地方や甲信越地方や東北地方などに記録的な大雨となり、県内でも堤防決壊やその他の氾濫の発生は少なくとも計68カ所となり甚大な被害をもたらしました。おかげさまでホームには被害等はありませんでしたが、同じ法人の栃木市にある自立援助ホーム「マルコの家」では施設と職員の車が浸水の被害にあいました。法人としても災害対策の強化に取り組んでいきたいと思っています。



そんな中季節の進みは早いもので10月31日には那須岳が初冠雪をしたとのニュースが掲載されました。初雪の時期としては、ほぼ平年並みとの事です。

♪赤いダウンに腕を通したら♪  
♪それは素敵な季節のはじまり♪  
♪山の雪便り♪

雪という言葉聞くたびに荒井由美の「雪だより」のメロディーと歌詞が毎年のように頭の中に流れてきます。学生当時まさに日本中がスキーブーム真只中だったこともあり、私自身も熱中していました。

♪机のラジオにそっと耳をよせた♪

ごとく新聞やテレビの雪だよりに胸をときめかせていたばかりか、当時は待ちきれずに狭山市にあった人口スキー場に通ったほどでした。しかし、時の流れは寂しいもので現在の雪のイメージは那須の寒さと共に決してポジティブなイメージばかりではなくなってしまっています。

さて今年も、ホームの合同慰霊祭が11月23日に行われます。カトリック教会では毎年11月を「死者の月」として、亡くなった方々が永遠の安らぎを得ることができるよう祈りをささげています。その中でも11月2日はすべてのミサが亡くなられた方のためにささげられています。

ホームの物故者名簿には、施設が昭和45年に開設後、46年に最初の方の記名があり200人の個人が記載されています。あらためて冥福をお祈り申し上げます。

また、特に今年は台風19号で亡くなられた方々や、世界中でたくさんの自然災害や事故がありたくさんの方が亡くなられています。合わせてその方々すべてのご冥福もお祈り申し上げます。

## YMCAだより

### 【みんなでワイ・Y・さくらんぼバザー2019】

ワイズメンズクラブ・YMCA・さくらんぼ幼稚園の合同バザーが11月3日(日)文化の日10:00~13:30、YMCAさくらんぼ幼稚園で開催されます。おたのしみ券(くじ)の販売を開始いたします。(1枚200円。素敵な景品が当たります。)※とちぎYMCAのバザーは、今年で第42回目を迎えます。

### 【とちぎYMCAウィンタープログラム始まります!】

11月12日(火)より、冬休みプログラムの募集受付が始まります。スキーキャンプやデイキャンプなど楽しい企画が盛りだくさんです。是非、沢山の方にお誘い頂き、ご参加お待ちしております!

### 【とちぎYMCA・那須YMCAの11月の予定】

・11/2(土) サタデークラブ(馬頭農村塾・お芋堀り)

・11/3(日) みんなでワイ・Y・さくらんぼバザー2018

・11/16(土) サタデークラブ(箱の森プレイパーク・サイクリング)

・11/17(日) Yキッズ(りんご狩り)

・11/30(土) サタデークラブ(西那須野幼稚園・クラフト)

## リーダーズフォーラム参加者の感想

9月6日(金)~8日(日)まで東京YMCA山中湖センターで開催された、「第32回ユースボランティア ユースリーダーズフォーラム」に参加したリーダーよりの感想文を掲載します。

寺島菜月(ぶりんリーダー)

フォーラムで、所属も活動内容も違うリーダー達と関わることで、様々な考えを聞くことができました。そこでは沢山の発見があり、自分の視野を広げることができるいい経験になりました。グループで話し合いを重ねたり、カヌーに乗ったりする中で、メンバーのことをだんだんと知り、グループの仲を深めることも出来ました。



学びあり、楽しみもあり、美味しいご飯と綺麗な景色もあったフォーラム。とても実りのある充実した3日間でした。

五十嵐啓祐(ベコリーダー)

今回、東日本ユースボランティアリーダーズフォーラムに参加したことで、いろんなリーダーの考えや思いを知ることができ、とても充実した3日間でした。3日間を通して「今、リーダーたちに求められていること」について話し合い、その答えを自分なりに出すことができました。また、改めてリーダーの存在とはどういうものなのか真剣に考えることができ、貴重な時間を過ごすことができたと思います。話し合いだけでなく、カウンセラーの方からレクリエーションなども教わり、楽しみながらも自分を成長させてくれたフォーラムでした。この



3日間で学んだことをこれからの那須YMCAやとちぎYMCAの活動に生かしていきたいと思っています。

高橋亜由音（あゆ〜んリーダー）

ユースリーダーズフォーラムに参加して、各YMCAのリーダー達と話をすることで自分に足りないものや自分のいいところなどが見えてきました。また、みんなの活動が違えど心の中にあることは同じことであることが分



りとても嬉しく、場所は離れているけど一緒に頑張っていきたいと思いました。本当に貴重な経験ができました。この出会いを大切に、これからも頑張っていきたいです。

西勇佑（ケンイチリーダー）

フォーラムでは、他県のリーダーやカウンセラーと関わることで、他のYMCAの活動内容や「今ユースボランティアリーダーに求められること」について意見を交換することができました。レクリエーション等も沢山学べ、とても貴重な経験になりました。また、綺麗な星や雄大な富士山などの



自然の中でのキャンプに、新しいリーダーとの繋がりも増え、本当に最高のフォーラムでした！

## 那須ワイズクリスマス例会のご案内

□□光は暗闇の中で輝いている。ヨハネ1：5

□シャローム□今年も暦が巡って最後の月を迎えました。師走という言葉の中に、今年なすべきことで積み残しはないかの点検と、来たる平成年を迎える備えは怠りないかという緊迫感が感じられます。一日一日が走るように過ぎ去っていく中で、難民となって故郷を後にした方々、何よりも、台風15号や19号の被害等による被災者の方々、多くの重荷を負っておられる方々に、主の御支えと励ましを心からお祈りいたします。

また、復旧に取り組んでおられるすべての方々のお働きに感謝いたします。1日も早い復興復旧を心からお祈りいたします。重ねて、世界中で今この時も続いている、政治危機、飢餓、迫害、差別、弾圧、災害、伝染病、貧困等々が一刻も早く乗り越えることが出来ま

すように祈ります。そのために私たちささやかな活動が用いられますように。さて、今年もYMCAの学生リーダーや賛徳園の皆様をお迎えして、クリスマス例会を下記のように開催いたしますので、ご出席くださるようご案内いたします。

### 2019年度□那須ワイズメンズクラブクリスマス

1. 日□時：2019年12月14日（土）18：00～

2. 場□所：西那須野教会礼拝堂と1階ホール

3. 内□容：

第1部□パイプオルガン演奏によるキャンドルサービス（燭火礼拝）

（仮題）あなたのために□ルカ2：8～17□西那須野教会□潘□炯旭牧師

第2部□クリスマス祝会

○愛餐会□おいしいものがいっぱい。

○お楽しみ会。

○その他。

4. 会□費：ゲストは無料（ご招待）。

□□□□□会員：1,000円。

□□□□□：一品持ち寄り歓迎。

